

平成25年度施設の運営状況

1 施設名

富山県立図書館

2 施設所在地

富山市茶屋町206-3

3 施設設置年度

昭和15年度

4 設置目的

県民の文化と教育の発展を図る。

5 施設概要

1 敷地面積

9,802.36㎡

2 建物面積等

①本館（鉄筋コンクリート2階地下1階建て：閲覧室、国際プラザ等）

3,713.74㎡

②別館（鉄筋コンクリート3階建て：情報プラザ、多目的ホール等）

1,809.75㎡

③資料センター（鉄筋コンクリート3階建て：書庫）

2,252.06㎡

3 保管資料

図書880,334冊、視聴覚資料15,951点

6 利用状況

(1)利用者数（人）

H21	H22	H23	H24	H25
203,242	205,660	196,883	186,846	177,629

(2)貸出冊数

H21	H22	H23	H24	H25
212,302	217,653	213,825	200,036	190,327

(3)調査相談件数

H21	H22	H23	H24	H25
18,697	19,211	18,841	19,378	20,068

7 評価項目

(1) 利用者数の増減に対する評価

平成25年度の利用者数は対前年度比△4.9%、貸出冊数も対前年度比△4.9%で、いずれも減少している。一方、調査相談件数は対前年度+3.6%で若干増加している。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ① 閲覧用雑誌の充実を図るため、平成26年度から雑誌スポンサー制度を導入することとし、平成25年12月からスポンサーの募集を開始した。
- ② これまでの活動を検証するとともに、目標設定のための検討委員会を設け、アクションプランを立案し、今後の重点課題に取り組むこととした。

(3) 利用促進に向けた取組み

- ① 「上海の窓」コーナー新設
上海図書館が中国の歴史・文化を紹介するため実施する「上海の窓」事業により寄贈された図書を配置するコーナーを国際プラザ内に新設した(平成25～28年度の4か年計画)。併せて開設記念展示も実施した。
- ② 企画展示
北陸地区県立図書館長会合同展示として、平成6年より富山、石川、福井、新潟4県立図書館と韓国ソウル特別市正読図書館との交流経緯、各館の概要、相互に寄贈交換してきた図書の展示を開催した。そのほか企画展示などは延べ12回開催。展示にあわせ、映像展示、読み聞かせ会などイベントを開催し、相乗効果を狙うなどの工夫を行った。
- ③ ケーブルテレビによる本の紹介
毎月1人の司書職員が、企画展示に関連するテーマ等から3冊程度お薦め本を選び、ケーブルテレビ「北日本新聞ニュース」の番組で紹介した。
- ④ 図書館紹介行事の開催
来館者を対象にした県立図書館見学ツアー、インターネット蔵書検索利用講習会を延べ3回実施した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

閲覧室カウンター等において、図書購入に関する要望をはじめ、各種の要望や苦情等を受け、適切に対応を行った。

- ① リクエストによる図書購入 743冊
- ② ご意見箱の意見への回答 42件

(5) 個人情報保護の取組み

富山県個人情報保護条例に基づき、適切に対応を行った。
(具体的な取組み)

- ① 利用者の借りた図書の情報を外部に漏らさない。
- ② 各種伝票等には利用者の氏名と借りた資料名を同時に印字しない。
- ③ 返却と同時に貸出履歴を消去するシステムとしている。
- ④ 各種申込書の情報をその目的以外に利用しない。

(6) 関係団体との連携

富山県図書館協会、富山県郷土史会等と連携し、研修会や講演会等を開催した。(開催延べ回数:講演会等5回、研修会等8回)

(7) 施設・設備の維持管理、充実

- ①電力使用量の監視により、夏場の日中等における最大電力使用量の抑制(ピークカット)を行い、電気料金の節約を図った。
- ②建物西側の窓ガラスに遮熱フィルムを貼り、空調の効率化を図った。
- ③第2駐車場の大型案内表示板を図書館正面に設置するなど、施設案内の充実を図った。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ①緊急連絡体制や危機管理マニュアルの周知を図った。
- ②消防訓練を実施した。
- ③救命講習会(心肺蘇生・AED操作方法の習得)を開催した。

8 今後の課題等

新たな利用者を掘り起こすなどにより、来館者や貸出冊数等の増加を図る。